

2018 前期 HOP 授業計画一覧（1 年生前期）

回	タイトル	内容	キーワード	主な活動内容	テキスト
1	探究活動の心得	探究活動に取り組むために必要な姿勢を理解する。	メタ認知、クリティカルシンキング、心の理論 探究五箇条	春課題で作成した台本をもとに、グループで 3 つの用語についての「寸劇」を実演する。	1
2	課題解決の「型」	課題解決の「型」の構造と構成する要素「課題」「仮説」「理由」「証拠」等を理解する。	課題解決の「型」 「課題」「仮説」「理由」「証拠」	Run-up を元に付箋を使ってグループで意見交流し、課題解決の「型」に必要な要素について考える。	2-1
3	課題設定の心得	興味関心から「問い」を導き出し、「課題」へと洗練していくプロセスを理解する。	「問い」と「課題」 興味関心 課題適性度チェック	Run-up を交流し、「質問リスト」「課題適正度チェック」を通して、グループで課題を設定する。	3
4	情報収集の心得	知りたい情報を入手するためのあらゆる情報収集の手段を学ぶ。また、情報の信憑性を判断する必要性を理解する。	情報収集の手段 情報の信憑性	情報収集・検索の手段（「NDL-OPAC」「CiNi」等）を実際に試してみる。	4 4-付録
5	課題解決の心得	アウトラインを作成することを通じて課題解決のプロセスを理解する。	アウトライン 課題解決のプロセス 研究計画	課題解決の型に言葉をあてはめながら、アウトラインを作成し、課題解決までの流れを明確にする。	2-1,3
6	論証の「型」	論理的に答えを導き出すために必要な、論証の「型」を理解する。	根拠 隠れた前提 論証の筋道（帰納、演繹、アブダクション）	論証の「型」を用いて論証の道筋を組み立て、ポスター作成に着手する。	2-2
7	情報利用の心得	先行研究を利用する意義や不正利用の危険性を理解し、引用・参考の作法を学ぶ。	先行研究 不正利用（剽窃・改ざん・ねつ造） 著作権 引用・参考の作法	実際に作法に従って引用したり、参考文献を記載方法に従って記載する。	5-1,2,3
8	3 つの仕掛け	印象操作の典型的な「仕掛け」を理解し、誤った情報を発信しないよう意識づける。	見せ方の「仕掛け」 データ選択の「仕掛け」 データ収集の「仕掛け」	資料に潜む、3 つの「仕掛け」（見せ方の「仕掛け」、データ選択の「仕掛け」、データ収集の「仕掛け」）を見抜く。	5-4
9	発表の心得	ポスター発表の形式や意義、質問の作法について理解する。	発表の意義 ポスター発表 質問の作法	DVD を見てポスター発表会の形式を理解した上で、発表のリハーサルを行う。	6
10	ポスター発表	ポスター発表会の経験を通して、他者にわかりやすく伝えるための工夫や、質問の意義を理解する。	ポスター発表会	発表者および聴き手として、ポスター発表の場における議論を体験する。	6
11	論文の心得	論文の意義や構成を理解する。また、論文を書く上で留意すべきことを理解する。	論文の意義 論文の構成 パラグラフライティング 表記ルール	論文の構成を意識して、論文作成に着手する。	7-1,3,5
12	結論/序論	論文における序論・結論の役割、必要な要素を理解する。また、タイトルの命名のあり方について理解する。	研究の意義 考察 今後の課題 タイトル	結論に必要な要素に従って、結論を書く。また、自身の行ってきた探究活動の背景や意義を再度整理した上で、序論を書く。	7-3,4
13	論文作成	論文を提出するにあたって、再度文章形式や誤字脱字をチェックすることの必要性を理解する。	表記チェック 論文チェックリスト フォーマット	「探究論文チェックリスト」に沿って、論文の文章形式等について相互にチェックする。	7-付録
14	まとめ	HOP で学んだことを整理し、実生活に結びつける視点をもつ。	HOP のふりかえり	HOP での学びをふりかえり、共有する。	

【使用テキスト】 未知の探究—探究活動の歩き方—（京都市立堀川高等学校/2018 年 3 月 16 日初版）